



Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

公益財団法人へ移行

—平成24年4月1日から新法人へ—

昭和44年11月28日に設立された財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会は、平成20年12月1日の公益法人制度改革の実施に伴い、公益認定を受けるべく準備を進め、平成23年8月25日付で内閣府公益等認定委員会から「答申書」が出されました。また公益認定申請と並行して、特定公益増進法人の更新を従来の主務官庁である文部科学省へ申請し、8月17日に更新証明されました。新法人移行は、諸規程の整備・見直しをはじめ、ガバナンス、寄附金の取扱い等、様々の移行準備を進めるため、理事会の決定により平成24年4月1日となりました。

この度、平成24年3月19日の公益認定証明を受領し、4月1日の登記日をもって法人名を「公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会」と変更し、新年度が始まりました。今後は公益法人の名に適うよう一層尽力していきます。今まで同様ご支援ご厚情いただけますようお願い申し上げます。

移行認定基準とは

今後、移行認定に沿った事業の執行は「不特定多数の者の利益の増進に寄与すること、受益者が特定の範囲に限られる場合であっても、その受益の効果が広く社会全体に及ぶこと」が重要となります。当財団は引き続き耳鼻咽喉科学及び関連分野における研究及び学術会議等への助成を続けていきます。

新制度における税制措置とは

「公益財団法人」はすべてが寄附優遇の対象となる「特定公益増進法人」に該当するため、当財団への個人の寄附及び法人の寄附は従来どおりの「税優遇措置」の対象となります。

平成24年度 SPIO Award について

SPIO Awardは、毎年Auris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金(5,000ドル)を贈呈しています。ただし、筆頭著者は45歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。

平成24年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からもANL誌に寄せられることを期待しています。

詳細はホームページ参照 <http://www.spio.or.jp>

平成24年度 研究助成金・戸田 SPIO 奨学金の交付募集について

今年度の申込み締め切りは、研究助成金、戸田 SPIO 奨学金ともに8月31日です。

交付申請をご希望の方は所定の申請書類をお送りしますので事務局までご連絡ください。または申請書をホームページからダウンロードしてご使用下さい。

交付者並びに交付金額は、選考委員会にて書類選考の上決定します。また、過去に助成金を受けた方も対象となります。推薦者が SPIO の賛助員でない場合はご加入をお願いします。

詳細はホームページ参照 <http://www.spio.or.jp>

公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会 役員等一覧

平成24年4月1日現在

代表理事 (理事長)	野村 恭也	東京大学名誉教授
代表理事 (副理事長)	市川銀一郎	順天堂大学名誉教授
常務理事	八木 聡明	人間環境大学学長
常務理事	小松崎 篤	東京医科歯科大学名誉教授
理事	岡本 健	中部学院大学学長
理事	坂井 真	茅ヶ崎中央病院名誉院長
理事	神崎 仁	国際医療福祉大学熱海病院
理事	直江 登	イーザイ株式会社上席執行役員
監事	五十嵐 真	米国ペイラー医科大学元教授
監事	森山 寛	東京慈恵会医科大学教授
評議員	村上 泰	京都地域医療学際研究所長
評議員	金原 優	株式会社医学書院社長
評議員	加我 君孝	東京医療センター・臨床研究(感覚器)センター 名誉センター長
評議員	洲崎 春海	昭和大学教授
評議員	小川 郁	慶応義塾大学教授
評議員	高山 幹子	東京女子医科大学名誉教授
評議員	喜多村 健	東京医科歯科大学教授
評議員	飯野ゆき子	自治医科大学付属さいたま医療センター教授
評議員	岡本 牧人	北里大学教授
評議員	菊地 茂	埼玉医科大学総合医療センター教授
評議員	池田 稔	日本大学教授
評議員	吉原 俊雄	東京女子医科大学教授
評議員	大森 孝一	福島県立医科大学教授
評議員	奥野 妙子	三井記念病院耳鼻咽喉科部長
評議員	林 正晃	第一医科株式会社社長
顧問	曾田 豊二	福岡大学名誉教授

- 訃報 - 常務理事 木田 亮紀氏がご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます